

玉津地区 ため池ハザードマップ 被害想定区域と避難場所

このハザードマップは、玉津地区にある5つのため池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した場合を想定しています。

(集落への到達時間は、1~3分)

凡 例		
ため池決壊時の 想定浸水深	0.5m未満	
	0.5m~1m	
	1m~2m	
	2m~3m	
	3m~5m	
流 速		
千代川氾濫想定区域		
土石流警戒区域		
急傾斜地警戒区域		
避難場所	避難所	
	一時避難所	
避難路		

【注意事項】

道路が水の通り道となり、流速が増す危険があります。また、家塀により水位が増し、想定浸水深を超える可能性があります。

ブロック塀などは、壊れる可能性があるため、地震時の避難には注意が必要です。

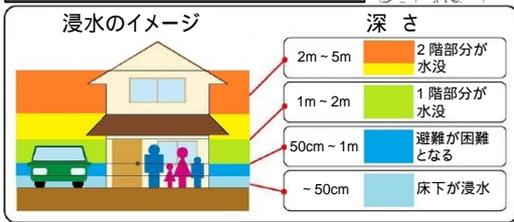
ため池決壊後は、無理に避難しようとせず、自宅の2階で待機しましょう。(特に夜間)

避難路は
家族で話し合って
入れてください



避難所
江山中学校
53-0600

避難所
大和体育館
53-0404



道の傾斜が急なため、水の流れが速くなる危険があります。

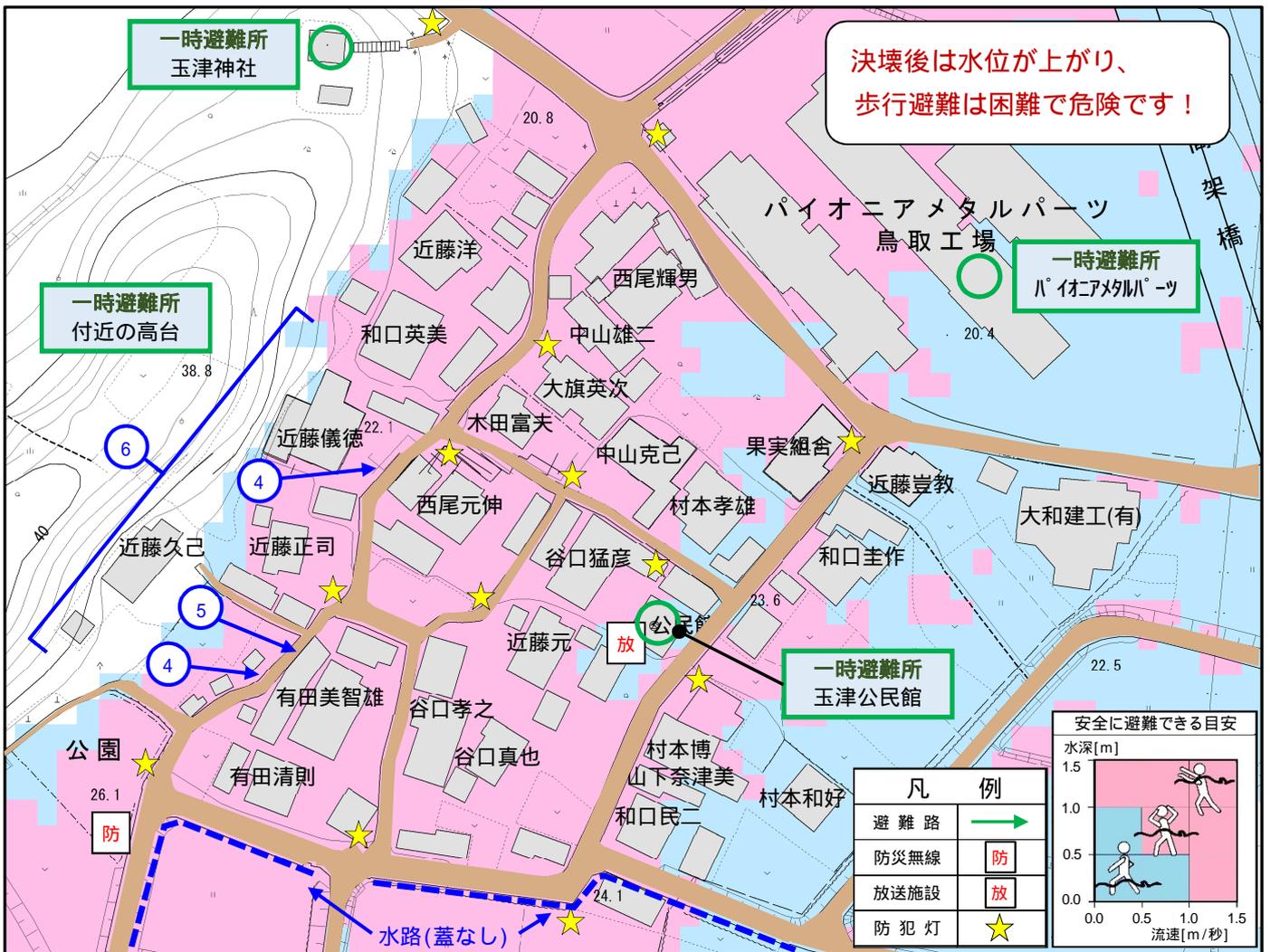


過去に避難勧告が出たことがあります。(ため池改修時)

土石流の危険があります。



- こんな前触れに注意 -
- ・ 山鳴りがする
- ・ 急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- ・ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・ 腐った土の臭いがする



大きな壁

水の流が速くなったり、水位が上昇する危険があります。

水がたまりやすい

避難の際は、なるべく避けるようにしましょう。

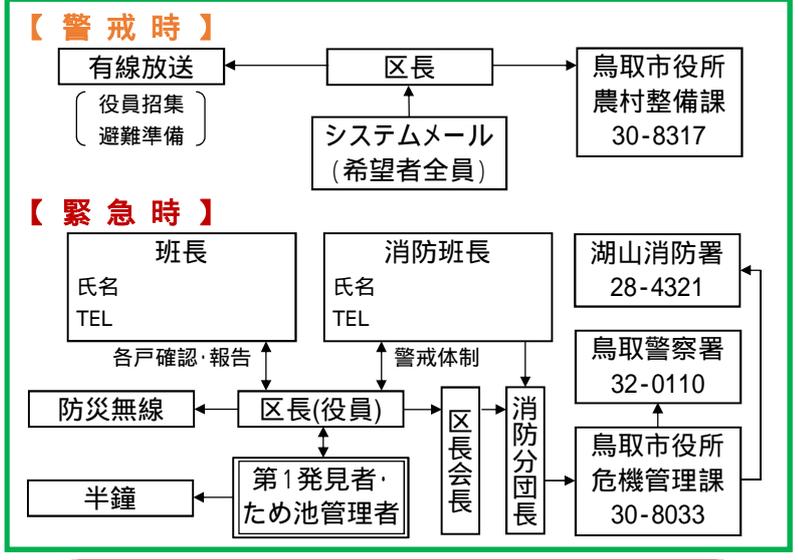
曲がり角が多い

カーブの外側では水の流が速くなる危険があります。

グレーチング

水が吹き上がります。また、蓋が外れると、水路に落ちる危険があります。

連絡体制



今後の課題

- 避難訓練を行う
- 放送機に手順・必要事項を明記する
- 防犯灯・電柱に想定水位の印をつける
- ため池の洪水吐に警戒水位の印をつける
- 水路の管理
(山から堤への水路や、村の上の水路の清掃)
- グレーチングの固定
- 洪水吐の断面不足解消

【わが家メモ】 家族と話したことをメモしておきましょう。
避難場所(付近高台など)

緊急連絡先・安否確認方法